



今回は、1 年 2 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 1 班は中濃厚生病院を訪問しました

研究テーマ: Alex's Lemonade Stand

日 時: 2019 年 8 月 8 日(木) 14:00 ~ 14:30

訪問先: 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院

参加者: 明星飛弥 太田帆香 金森雄也 鈴木穂乃花 永坂知也 間宮万結 安田航

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



小児がんについてのお話をガン相談支援センターの伊藤さんに伺い、小児がんになってしまった時の治療費や生活、精神面のケア、大人のガンとの違いなどについて学びました。

話を聞くうちに小児がんに対する国や医療関係者からの対応の手厚さがだんだんと分かっていき、それだけ小児がんが重大な病気であることを改めて実感しました。

30 分という短い時間でしたがこのフィールドワークで学んだ内容は今回の SGH の学習に深くかかわる部分であり、プレゼンやレポート、ポスターなどの大部分の参考になったとても貴重な体験でした。



◇ 私たち 2 班は洞戸キウイプラザを訪問しました

研究テーマ: 地産地消 ~関を食べる!~

日 時: 2019 年 8 月 2 日(金) 10:00 ~ 12:00

訪問先: 洞戸キウイプラザ

参加者: 天池望月 大塚美空 河合琉嘉 酒向紀之 仲林直毅 南寧音

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



私たちは、関市の名産品であるキウイについて調査するため、洞戸キウイプラザへフィールドワークに行きました。

フィールドワークを通して、地産地消は、地域で生産されたものをそこで消費するというだけでなく、生産者と消費者の関わりを創ることで地域活性化を図ることができるのだと知りました。

洞戸キウイを地域活性化に繋げるためには、若者が農業についての現状や課題を知り、理解を深めて少しでも興味を持ってもらう事が大切であると思います。





今回は、1 年 2 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 3 班は善照寺を訪問しました

研究テーマ： 外国人に関をPRする

日 時： 2019 年 8 月 3 日(月)10:00～ 12:00

訪問先： 関善光寺

参加者： 田原希頼、山内康誠、藤本大志、天池龍空、山田梨奈、可児あいり、大堀実歩

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



私たちは事前調査で、「観光で訪れるほとんどの外国人は、日本の自然や文化（関では刃物）に興味がある」「関市に来ている外国人はヨーロッパの人が 42.3%を占めている」ということを知りました。

フィールドワークを通して分かった課題は、「関に来て、刃物だけ見てほかの場所には寄らず帰ってしまう」「日本人はもっとたくさんの日本文化の知識を蓄えておくべき」

ということです。

これらの活動を通して、観光について、「関に来て、刃物だけ見て他は寄らずに帰ってしまう外国の方が多いこと」「アジアから来ている外国人よりもヨーロッパから来ている外国人の方が多いこと」「自分たちが良さを知らない、相手に良さが伝わらない」ということを学びました。



◇ 私たち 4 班はふる里農園美の関を訪問しました

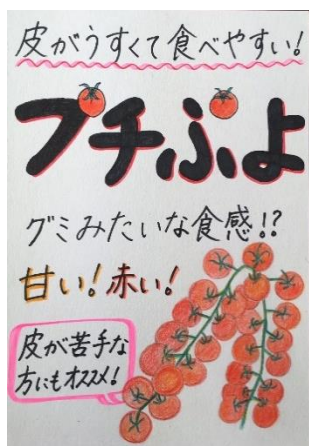
研究テーマ： 関市の魅力を広めよう！

日 時： 2019 年 8 月 18 日(日) 9:30 ～ 12:00

訪問先： (ふる里農園美の関)

参加者： (生田まこ 奥田快士 川島流星 田中里佳 平川千尋 水野匠 吉川遼)

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



ふるさと農園さんへの訪問を通し、人口減少などの課題を工夫して克服しようとする姿勢が大切なのだと知った。野菜の甘さを調節したり、観光農園として、いちご狩り体験などを行ったりしている姿が特に印象的だった。普段私たちは消費者としてしか野菜を見ていないが、農家さんは私たちのために工夫して野菜栽培をしてくれていると知ることができたことが、とてもうれしい。

今回課題の解決策としてポップ作成を行った際、どうすればお客さんの購買欲を高めることができるのか、どうすればお客さんの目に入るのかということをお客さんの目線で考えるというアドバイスをいただいた。それは私たちが社会に出て働き始めた時にも必要とされる大事な視点だと感じた。





今回は、1 年 2 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 5 班はラステン洞戸を訪問しました

研究テーマ: Let's Make Seki City Energetic!

日 時: 2019 年 8 月 3 日(土) 13:00 ~ 16:00

訪問先: 道の駅ラステン洞戸

参加者: 井上葵、恩田皓介、河野来夢、中島瑠花、古川海月、古田響、丸山愛未

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



.関市に住んでいても地域によって特産品や行事が異なっていて、調べていて面白かった。自分たちの考える課題と、フィールドワークで地元の人に聞いて分かった課題が違って、ニーズに合った解決策が必要だと分かった。少子化が進んでいるため、伝統行事を受け継ぐ人も少なくなっていることも分かった。



◇ 私たち 6 班は soleil を訪問しました

研究テーマ: フェアトレード

日 時: 2019 年 8 月 10 日 10:00 ~ 12:00

訪問先: soleil

参加者: 上野雄一朗・葛西梓未・熊谷奏汰・野尻和歌那・古田直暉・横井心優

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想

私たちのフィールドワークでは、いくつかの成果を得ることができました。

まず、それまで詳しく理解していなかったフェアトレードのしくみについて、soleil の方に詳しく聞きました。それにより、私たちは、世界的な貧困の解決策をより具体的、実現的に考えることができました。

さらに、フェアトレードを行う店の考え、思いについても知ることができました。店側にとって利益が少なく、リスクの高いフェアトレード商品を売ることは、小さなことではなく、貧しい国を救うための強い気持ちがあつてこそなのだと思います。



また、地域のお店を訪問したことで、自分たちの地元を少し身近に感じられるようになりました。これからも地元に接していけるようにしたいです。

今回の活動を、これからの生活や、2 年の SGH の活動に生かし、地域や世界に貢献できるようにしたいです。

